

妊孕性に重点をおいた思春期健康支援

キーワード：思春期、性教育、妊孕性、不妊症

領域・氏名

看護（母性看護学） 准教授／ 壹岐さより

概要

生殖補助医療の発展は目覚ましいものですが、その一方で不妊治療による悩みやこころの負担は決して小さいものではありません。不妊症を予防するためにも男女とも思春期からの妊孕性の教育を含めた性教育を探究していきます。

具体的な内容

これまで児童養護施設の『生きる力「性＝生」教育』のプログラム作成に携わってきました。性感染症や望まない妊娠を教育する性教育も大切ですが、自分の身体に関心を持ちながらセルフケアできる力が必要であることがわかってきました。また、生殖医療相談士として活動する中で、不妊治療中の心身の負担を軽減する必要性も感じてきました。女性も男性も思春期からセルフケアできるために必要な知識や教育について研究しています。

Information（情報）

すべての女性が自分のライフサイクルを見すえて出産できるような支援を目指して、地域の様々な職種と連携していきたいと考えています。